

瞭望 東方周刊

ORIENTAL OUTLOOK

(2011年7月7日版)

新華社発行の政府公式週刊誌「東方周刊」による 「中国共産党に影響を与え、貢献した10人」に ロバート・クーン博士が選出さる !

* この週刊誌は、中華人民共和国・国務院直属の通信社である「新華社」の発行する政府公式のものである。

* 「新華社」は中華人民共和国の一般ニュースを海外向けに配信するほか、政府要人の発言を独占的に配信することも多い。実際、政府の幹部人事などは新華社を通じて発表する。なお、新華社は国務院直属の機関であるため、日本のメディアで「新華社によると」といった伝え方をしたときは、政府及び共産党の公式見解を報道していると考えて差し支えない。

* この度の中国共産党創設90周年を記念して色々なイベントが企画されたが、その一つが、この「中国共産党に大きな影響を与えて、その発展に貢献した10人」である。

* この選出に当たっては、学識専門家らによる選出委員会が、まず50名を選出し、その中から最終的に10名を選出したものである。

* この最終選出により、クーン博士がその10名に選ばれたものである。

* その結果が同誌の7月7日号に発表されたが、その10名の中には、日本に留学し、「阿Q正伝」などの作品で日本人にもよく知られている「魯迅」を始めとして、日中貿易の立役者として知られる「廖仲愷」（高碕達之助と共にLT貿易覚書を締結）や、中華民国時代の軍事指導者「張学良」、「中国の赤い星」などの中国共産党に関する作品で著名な、アメリカのジャーナリスト「エドガー・スノー」など錚々たる顔ぶれが揃っている。これらの超大物と並んでクーン博士が選出されたと言うことは、中国において厳然たる独裁的存在を誇る中国共産党がいかに博士を高く評価し、今後共に期待しているかを如実に物語っている。

* この10名のうちクーン博士のみに対する同紙記者によるインタビューの内容が同誌の21~23ページの3ページにわたって大きく掲載されているが、これは10名のうち存命なのはクーン博士だけと言うためでもある。